

## ◎ヒューマリンR 注ミリオペン・◎バイアル [注]

【重要度】★ 【一般製剤名】インスリンヒト（遺伝子組換え）（U） insulin human（genetical recombination） 【分類】インスリン 製剤 [速効型]

【単位】◎100 単位/mL（3mL キット，◎10mLV）

【用法】1 回 4～20U， 毎食前（初回）；1 日 4～100U（維持量）を皮下注

【透析患者への投与方法】血糖値に応じて投与（1）

【その他の報告】50%に減量（10,17）

【PD】PD 患者にバッグ内投与されたインスリンはバッグやチューブなどに14%吸着する。腹膜からの吸収は17～66%（平均38%）と個人差が大きい（Fine A, et al: Perit Dial Int 20: 652-655, 2000）

【CRRT】75%に減量（17）

【保存期 CKD 患者への投与方法】血糖値に応じて投与（1）

【その他の報告】Ccr>50mL/min：減量の必要なし，Ccr 10～50mL/min：75%に減量，Ccr<10mL/min：50%に減量（3,10,17）

【特徴】中性溶解製剤で速効型。無色透明で静注が可能。食後高血糖に皮下投与したり、糖尿病昏睡時やケトアシドーシス時に少量持続点滴する。中心静脈栄養時の糖代謝異常にも用いられる。

【主な副作用・毒性】低血糖，ショック，過敏症，浮腫，注射部位異常など

【モニターすべき項目】血糖値、体重測定、尿糖、尿中ケトン体、HbA1c、血清pH、血清リン値

【tmax】45min（1）

【代謝】主に肝臓、腎臓、筋肉などで代謝される（1）大部分は受容体を介して細胞内に取り込まれてから小胞内で分解される。膵臓β細胞から分泌されたインスリンは門脈を経て肝臓に到達ここで約半分が取り込まれ残りが大循環に入り、全身組織に運ばれ作用を発揮する（1）

【排泄】30～80%が腎排泄される。未変化体のインスリンは再吸収される（U）尿中未変化体排泄率5%以下（10）5%（14）【CL】167～667mL/min（10）【非腎 CL/総 CL】40%（10）

【t1/2】0.25～2hr，報告により差がある（10,14）4 [3～5] min（11）【透析患者の t1/2】延長する（10）

【蛋白結合率】5%（10）5%以下（11）

【Vd】0.6L/kg（14）【分布】ほとんどの細胞内に分布（U）

【MW】5808

【透析性】分子量が大きいため除去されにくいと考えられるがある種の合成高分子膜には付着により血中濃度が低下する（5）

【効果発現時間】10～30min（静注）；30min～1hr（皮下注）【最大効果発現時間】15～30min（静注）；2～4hr（皮下注）

【効果持続時間】30min～1hr（静注）；5～7hr（皮下注）

【更新日】20170413

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。